

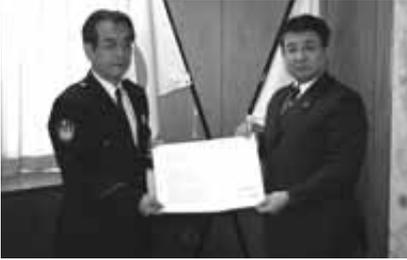
下野警察署と暴力団排除に
関する合意書締結

2月19日(金)、下野警察署と暴力団排除に関する合意書が締結されました。

市では平成22年4月より、指名停止措置要領に準じ、公正な入札執行を図るため現行の指名停止基準の全面改正を行い、新しく「暴力団員であることを知りながら不当利用する」1件を追加し、厳格化しました。

合意書は、市が発注する建設工事のほか測量・建設コンサルタント業務委託、役務提供、物品・資材調達等及び公有財産売却などから暴力団員などを徹底して排除するため、互いの連携を密にする内容となっております。

また、市工事等において暴力団員などによる不当要求又は工事妨害を受けた場合、請負者に対し、同署への通報、必要な捜査協力、市への報告を義務付け、これを怠った場合は請負者に指名停止の処分を行うことになりました。



新たな大道泉橋が開通しました

鬼怒川に架かる新たな大道泉橋(長さ716m、幅14.5m)の開通式が2月27日(土)に行われ、県道栃木二宮線の真岡市青田交差点から下野市本吉田交差点間が供用開始となりました。

式典では、栃木県知事のあいさつの後、広瀬市長も祝辞を述べ、その後、関係者がテープカットしたのに続き、尊徳太鼓や幼稚園児の太鼓演奏の中、地元住民たちが渡り初めを行い完成を祝いました。



総合格闘技でタイトル獲得!

3月9日(火)、総合格闘技「パンクラス」でフライ級第2代王者となった、下野市出身の清水清隆さんが市役所を訪れました。

表敬を受けた広瀬市長は、「下野市出身の王者が誕生し、とても嬉しいです。これからも怪我に気をつけ、がんばってください。」と激励しました。「清水さんの持ち味は?」との質問に「気合です。」と答えた清水さん。今年中には行われるというタイトルマッチに、今度は王者としてベルトを防衛していただきたいです。これからの活躍に注目です。



農地・水・環境保全向上対策の活動通信

視察研修会の実施

石橋南部環境保全会では、2月20日(土)、役員及び会員36名が出席し、景観形成や生態系保全活動についての視察研修を実施しました。

研修は、農地・水・環境保全向上対策の先進的な活動を行っている宇都宮市逆面エコ・アグリの会とピオトープの里ふくおかの2組織で、誇れる農村景観の里づくりや山際の休耕地を利用した生き物の楽園、ピオトープづくりなどの説明を受けました。研修で得たさまざまな情報を、保全会の今後の活動に活かしていきたいと思ひます。



保全会の掲示板設置

仁良川の里保全会では2月21日(日)、地域住民の方に農地・水・環境保全向上対策活動をより知っていただくよう、江川用水法面に掲示板1基を設置しました。設置は基礎づくりから会員の共同作業で行い、掲示板には仁良川地区や他の組織の活動状況、共同活動のお知らせなどを掲示し、情報発信の場として多いに活用していきます。

